



図上訓練セミナー

*Biosecurity Table Top Exercise 2008*

新型インフルエンザパンデミック  
地域連携モデル



参加のご案内

平成20年10月15日  
9:30 ~ 18:00

東京慈恵会医科大学

## 図上訓練セミナー実施の背景と目的：

SARSの流行、新型インフルエンザの脅威、バイオテロ発生の可能性など、今日、私たちを取り巻くバイオセキュリティ環境は予断を許さない状況にあります。「備えあれば憂いなし」の言葉のとおり、これらの危機にいかに対処するかについて前もって考察しておくことは、現実に危機が発生した場合の被害を最小限にすることにつながります。

こうしたことから一昨年まで4年間にわたって防衛省防衛研究所と米国防衛分析研究所で共催されてきた図上訓練セミナーの趣旨を東京慈恵会医科大学が継承し、昨年より

- ① バイオセキュリティ環境を分析し、直面する脅威に関して理解を深めること
- ② そのような脅威への最適な対応手段を考えること
- ③ シナリオ演習を通じ、関係機関相互の意思疎通を図るとともに状況判断能力を養うことを目的に図上訓練セミナーを始めました。

第1回目として、バイオテロが発生した場合における関係機関の情報共有をテーマとして大規模な図上訓練を行いました。本年は第2回目として、目前の脅威となっている新型インフルエンザパンデミックをテーマに討論を中心とした図上訓練を開催します。

## 図上訓練セミナー2008年のテーマ：

高病原性新型インフルエンザが効率的にヒトからヒトへ感染するようになり、日本国内でも患者が発生した場合には多くの犠牲者が出る可能性があります。特に東京には海外からのビジネスマンや旅行者が多く通過・滞在することから、国内でも最初のアウトブレイク発生源になる可能性があります。そこで、「**東京で国内最初の新型インフルエンザが発生した場合、感染拡大や犠牲者を最小限にするためには、地域はどう対応すべきか**」について検討することは極めて重要であると考えます。そしてそのためには、地域の医療機関と自治体、さらにはメディアなどを含めた関係機関相互の協力・連携が必須であることは言うまでもありません。

現在、自治体および東京慈恵会医科大学では新型インフルエンザ対策を検討中であり、これが実際に機能するかどうか、課題は何か、何を改善すべきかを検証するために、新型インフルエンザへの対応を、

- ① いつ新型インフルエンザ国内発生に気付くか？
- ② 初期段階で感染の連鎖をどのようにブロックし、封じ込めるか？
- ③ 連鎖を食い止められなかった場合、犠牲者の数を少しでも減らすためには、患者をどのようにトリアージし、どこで誰が診療するのか？

の3段階に分けて、それぞれの段階ごとに地域連携モデルについての図上訓練を実施します。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

テーマ “**新型インフルエンザパンデミック地域連携モデル**”

日時 平成20年10月15日(水曜) 9:30~18:00

会場 東京慈恵会医科大学 (東京都港区西新橋3-25-8)

**大学1号館 3階講堂** ※次頁をご参照ください

### 研修内容

- 9:30 - 9:45 慈恵医大学長 挨拶
- 9:45 - 10:10 演習の背景・目的・進行について
- 10:10 - 10:30 港区区長 挨拶
- 10:30 - 11:00 シーン1：救急室における週末夜間診療シーン
- 11:00 - 11:45 シーン1に関する討論
- 11:45 - 13:00 昼休み (各自昼食)
- 13:00 - 15:00 シーン2：医療機関と自治体との連携 (最初の患者)
- 15:00 - 16:00 シーン2に関する討論
- 16:00 - 16:20 休憩
- 16:20 - 16:35 その後のシミュレーション (アウトブレイク)
- 16:35 - 18:00 シミュレーションに関する討論および総合討論

なお、本セミナーにおいては、参加者が自由に発言できるように、[チャタム・ハウス・ルール](#)を適用しています。

[チャタム・ハウス・ルール](#)とは、研究会における発言を公刊文書やマスメディアにおいて引用する場合、議論の内容そのものを引用したとしても、発言者が特定されるような形では行わないことです。このルールによって、皆さんの発言が勝手に使われることはなくなります。ご理解とご協力をお願いします。

参加費 無料

交通・宿泊に係る費用は各自でご負担下さい。  
昼食は各自でお願いいたします。

懇親会 有料 会費 **4,500** 円

**愛宕グリーンヒルズ MORIタワー2F「ダイナーツムラ」**

<http://www.ehills.co.jp/rp/dfw/EHILLS/morishop/atago/dinertsumura/index.php>

**参加対象** 今回の図上訓練にプレイヤーあるいはコントローラとして参加していただく人数は各シーン10名前後となります。この方々につきましては実行委員会側から個別に指定させていただきます。そのため、多くの参加者にはオブザーバーとしてシーンを観ていただき、討論時間に活発なご意見をいただければと考えております。最高80人で締め切らせていただきます。

#### 昨年参加機関例

内閣官房；外務省；厚労省；防衛省；国交省・空港；警察庁・都道府県警察；地方自治体（都道府県、市区町村）；保健所；地方衛生研究所；国立感染症研究所；国立保健医療科学院；メディア；インフラ企業等（交通機関、ホテル、テーマパーク）；消防庁；医療関係者；製薬業界；臨床検査；危機管理の関係する民間企業・NPO・研究機関；政治家；職業上バイオセキュリティに関する知識を必要とする方々 等

**主 催** 東京慈恵会医科大学 bio-TTX 2008 実行委員会

#### ◆実行委員長

浦島 充佳 （東京慈恵会医科大学）

#### ◇実行委員 （五十音順）

片山 善雄 （防衛研究所）

河本 志朗 （(財)公共政策調査会）

小島 俊郎 （日立製作所）

橋本 靖明 （防衛研究所）

舟橋 信 （(財)未来工学研究所）

宮坂 直史 （防衛大学校）

#### 主な協力機関

港区 みなと保健所

慈恵医大附属病院 感染制御部および救急室

## お申し込み・お問い合わせ先

以下の情報を**bioTTX2008申込**として下記まで**e-mail**でご連絡ください。**9月30日(火)**をもちまして締め切らせていただきます。

[参加者氏名]

[勤務先]

[所属・役職名]

[電話番号]

[e-mailアドレス]

[懇親会・出欠]

舟橋 信

(財)未来工学研究所 研究参与

〒135-8673 東京都江東区深川2-6-11

富岡橋ビル3F 技術・国際関係研究センター内

E-mail [dgs064105@iisec.ac.jp](mailto:dgs064105@iisec.ac.jp)

※ ご参加は事前のお申し込みを頂戴した方に限らせていただきます。

また会場の都合により、参加をお断りする場合がございますことを予めご了承ください。

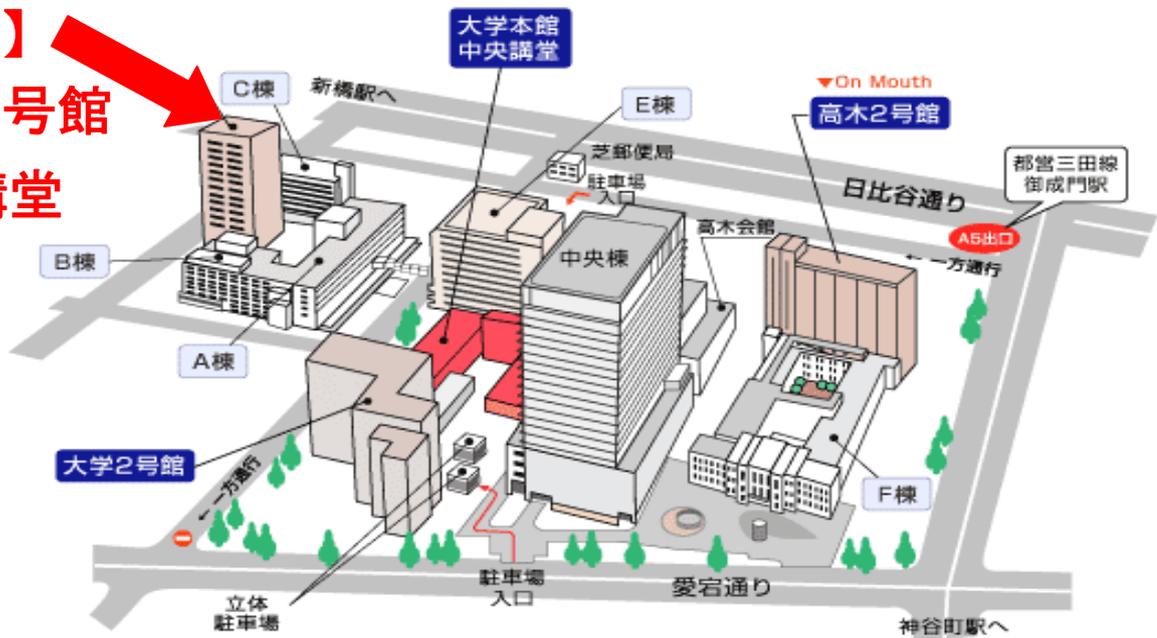
アクセス： 都営三田線 御成門より徒歩3分／日比谷線 神谷町より徒歩5分



<http://www.jikei.ac.jp/univ/access.html>

■西新橋キャンパス

**【会場】**  
**大学1号館**  
**3階講堂**



[http://www.iikei.ac.jp/univ/access\\_s.html](http://www.iikei.ac.jp/univ/access_s.html)